

# 森 誠教授略歴・著作目録



## 森 誠教授 略歴

1955年 2月 16日 生まれる

### 学歴

1977年 3月 富山大学経済学部経済学科卒業  
1977年 4月 大阪市立大学経済学研究科前期博士課程入学（1979年 3月修了）  
1979年 4月 大阪市立大学経済学研究科後期博士課程入学（1982年 3月単位取得退学）  
2011年12月 経済学博士（大阪市立大学）

### 職歴

1982年 4月 大阪市立大学経済学部助手（1985年 3月まで）  
1985年 4月 大阪市立大学経済学部講師（1992年 3月まで）  
1992年 4月 大阪市立大学経済学部助教授（2000年 3月まで）  
2000年 4月 大阪市立大学経済学部教授  
2013年 4月 大阪市立大学大学院経済学研究科長・経済学部長（2015年 3月まで）

### 学会活動

2002年 4月 日本経済学会同理事（2008年 3月まで）  
2017年 4月 日本経済政策学会同理事（2020年 3月まで）

### 担当講義

（学部）経済変動論，応用マクロ経済学，（大学院）マクロ経済動学研究

## 森 誠教授 著作目録

## 著書

1. 『21世紀の経済政策』（編者，服部容教，惣宇利紀男，分担執筆，大日康史・中島哲也・阿部顕三・柴田章久・落合隆・宮本守・惣宇利紀男・麻生憲一・利光強との共編著）（執筆部分：「第3章財政政策は有効か？」41-57頁）日本評論社，1999年。
2. 『長期にわたる最適化とケインズ経済学』（単著）晃洋書房，2011年。

## 論文

1. 「三野和雄「Wage-Price Spiral」の長期分析」へのコメント」（瀬岡吉彦との共著）『季刊理論経済学』31巻2号181-186頁，1978年8月。
2. 「Xパーセントルールのもとでの均衡成長経路の存在および安定性」『経済発展と市場』（大阪市立大学経済学会研究叢書11）49-64頁，1981年3月。
3. 「マネタリズムと資本主義経済の不安定性—置塩信雄教授の所説について—」（瀬岡吉彦との共著）『経済学雑誌』82巻1号48-59頁，1981年5月。
4. 「固定的労働と経済成長の『床』」『経済学雑誌』82巻2号61-71頁，1981年7月。
5. 「財政支出削減政策の諸結果—いわゆる Cheap Government 政策の成否」（星川順一との共著）『経済学雑誌』83巻1号1-17頁，1982年5月。
6. 「財政支出削減と貨幣供給」（星川順一との共著）『経済政策における需要サイドと供給サイド』（日本経済政策学会）31巻72-75頁，1983年5月。
7. 「外生支出と生産能力効果」『経済学雑誌』84巻6号25-39頁，1984年3月。
8. 「累積債務と経済成長についてのモデルの解」星川順一編『日本経済の成長と構造』207-211頁，1984年12月。
9. 「過少消費・投資行動および経済成長—Sweezy, Georgescu-Roegen モデルの検討—」『経済学雑誌』85巻5号39-63頁，1985年1月。
10. 「短期ナッシュ均衡と長期ナッシュ均衡—内生的成長モデルに対する Repeated Game の適用—」『経済学雑誌』92巻3・4号59-81頁，1991年11月。
11. 「資産の平等配分は社会的余を最大にするか？」（朱東平との共著）『経済学雑誌』95巻3・4号35-50頁，1994年11月。
12. 「独占的競争，資本レンタルおよびマルチプリシティ」『経済学雑誌』98巻3号99-117頁，1997年9月。
13. 「Money in the Utility Function と価格決定」『証券研究年報』12号25-37頁，1997年12月。
14. 「財政政策の有効性と異時点間の最適化」『経済学雑誌』100巻3号109-123頁，1999年

12月。

15. 「FTPL とケインズの失業」『経済学雑誌』100 巻 4 号 55-74 頁, 2000 年 3 月。
16. 「低配当のもとでの不況」(中嶋哲也との共著) 関東学院大学『経済系』第 207 集 1-7 頁, 2001 年 4 月。
17. 「Interest Rates in Stagnation: the Lower the Better?」(中嶋哲也との共著) 大阪市立大学証券研究年報, 第 16 号 17-21 頁, 2001 年 12 月。
18. 「差分方程式, 微分方程式および加速度原理—差分方程式の微分方程式近似—」『経済学雑誌』第 108 巻, 第 3 号, 50-59 頁, 2007 年 12 月。
19. 「大都市における GDP, GNI および財政赤字」都市問題研究助成『大都市における扶助費の研究』報告書, 2009 年 4 月。

#### 経済学雑誌別冊

1. 「実質賃金と雇用」『経済学雑誌』87 巻別冊 I 18-21 頁, 1986 年 4 月。
2. 「投資決意の独立性と失業」『経済学雑誌』88 巻別冊 I 19-27 頁, 1987 年 4 月。
3. 「消費率・消費レベルおよび経済成長」『経済学雑誌』91 巻別冊 8-20 頁, 1990 年 4 月。
4. 「デューゼンベリー型モデルと生産能力」『経済学雑誌』92 巻別冊 73-78 頁, 1991 年 4 月。
5. 「差分方程式と微分方程式入門—加速度原理の定式化と成長率の含意」『経済学雑誌』93 巻別冊 10-21 頁, 1992 年 4 月。
6. 「異時点間にわたる最適化入門」『経済学雑誌』94 巻別冊 51-58 頁, 1993 年 4 月。
7. 「古典派の第一公準と雇用の決定」『経済学雑誌』95 巻別冊 11-16 頁, 1994 年 4 月。
8. 「完全競争と完全雇用」『経済学雑誌』96 巻別冊 43-49 頁, 1995 年 4 月。
9. 「実質化とその問題点—GNP デフレーターの変化とインフレーション」『経済学雑誌』96 巻別冊 10-15 頁, 1995 年 10 月。
10. 「マクロ経済学の鳥瞰図—IS=LM 体系—」『経済学雑誌』97 巻別冊 1-7 頁, 1996 年 10 月。
11. 「名目利子率, 予想需要および投資関数—完全競争と独占的競争—」『経済学雑誌』98 巻別冊 (前期) 10-19 頁, 1997 年 4 月。
12. 「完全雇用, 経済成長および景気循環—ソローモデル, 内生的成長論, リアルビジネスサイクル論—」『経済学雑誌』98 巻別冊 (後期) 42-50 頁, 1997 年 10 月。
13. 「乗数・加速度原理と景気循環—2 階差分方程式と位相図—」『経済学雑誌』100 巻別冊 46-51 頁, 1999 年 4 月。
14. 「財政政策, 消費および雇用」『経済学雑誌』101 巻別冊 (前期) 18-22 頁, 2000 年 4 月。
15. 「外国貿易乗数と投資」『経済学雑誌』101 巻別冊 (後期) 講義資料 1-7 頁, 2000 年 10 月。
16. 「2 現連立微分方程式の解の挙動—循環しそうに見えるか?—」『経済学雑誌』第 105 巻別冊, (前期) 講義資料, 66-71 頁, 2004 年 4 月。
17. 「資本蓄積と雇用」『経済学雑誌』第 105 巻別冊, (後期) 講義資料, 32-34 頁, 2004 年 10

月。

18. 「貯蓄と利子率」『経済学雑誌』第106巻別冊，（前期）講義資料，29-31頁，2005年4月。
19. 「IS=LM 曲線と AD=AS 曲線」『経済学雑誌』第106巻別冊，（後期）講義資料，7-10頁，2005年10月。
20. 「Solow モデル，ケインズ派モデルにおける消費」『経済学雑誌』第108巻別冊（前期）講義資料，20-26頁，2007年4月。
21. 「ケインズ体系と新古典派体系—図式化による解釈—」『経済学雑誌』第109巻別冊（後期）講義資料，14-17頁，2008年1月。
22. 「投資の独立性と経済成長」『経済学雑誌』第110巻別冊（前期）講義資料，17-26頁，2009年4月。